



国立研究開発法人
水産研究・教育機構

プレスリリース

2025年4月25日

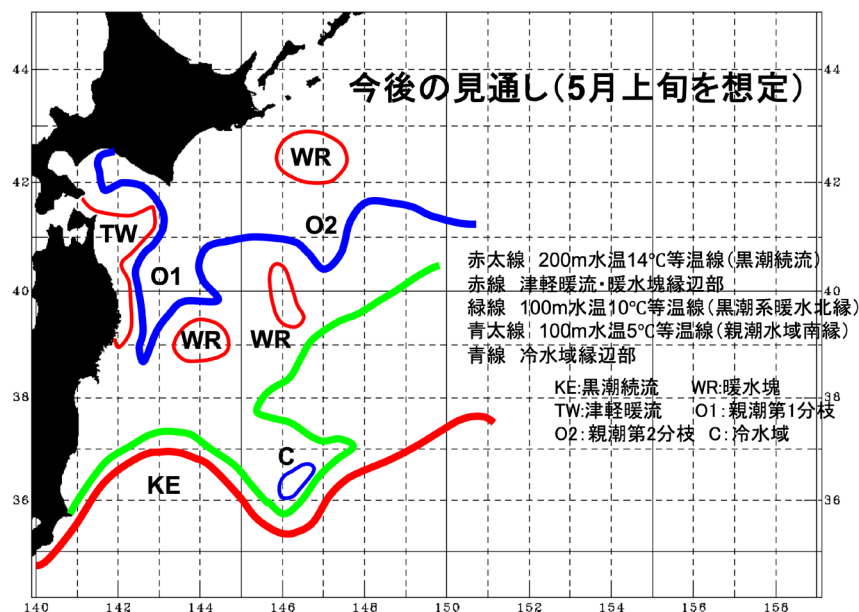
国立研究開発法人 水産研究・教育機構

2025年度 第1回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2025年4月下旬～2025年5月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏～かなり北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しはやや南偏～かなり南偏で推移する。
- ・ 釧路沖の暖水塊は東進し、三陸近海および三陸沖の暖水塊は西へ移動する。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
担当: 海洋環境部(塩釜) 清水、本間
電話: 022-365-1191、ファックス: 022-367-1250
当資料のホームページ掲載先URL
<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

2025年度第1回東北海区海況予報

《今後の見通し（2025年4月下旬～2025年5月）》

近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏～かなり北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはやや南偏～かなり南偏で推移する。釧路沖の暖水塊は東進し、三陸近海および三陸沖の暖水塊は西へ移動する。

《海況の経過（2025年2月～2025年4月上旬）の特徴》

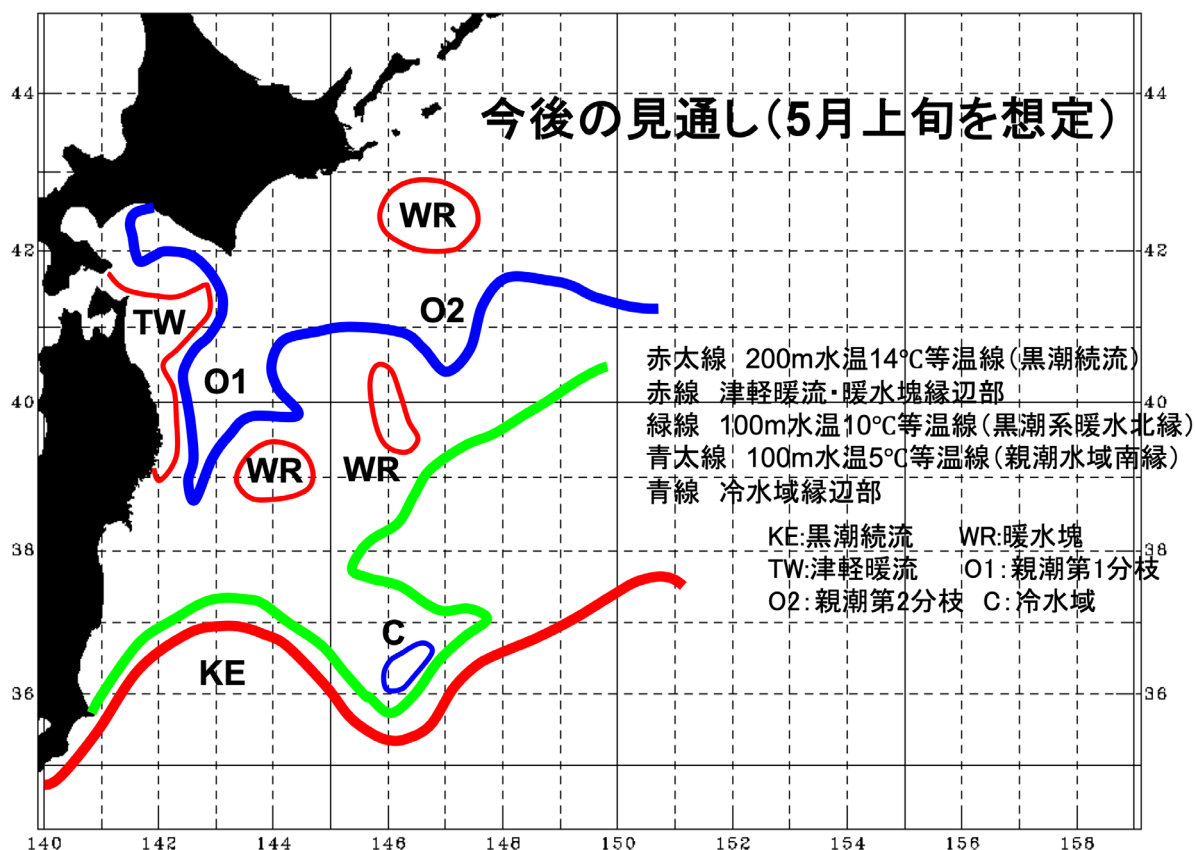
近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～極めて北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはやや南偏～極めて北偏で推移した。釧路沖の暖水塊は停滞した。三陸近海および三陸沖に暖水塊が形成された。

《現況（2025年4月中旬）の特徴》

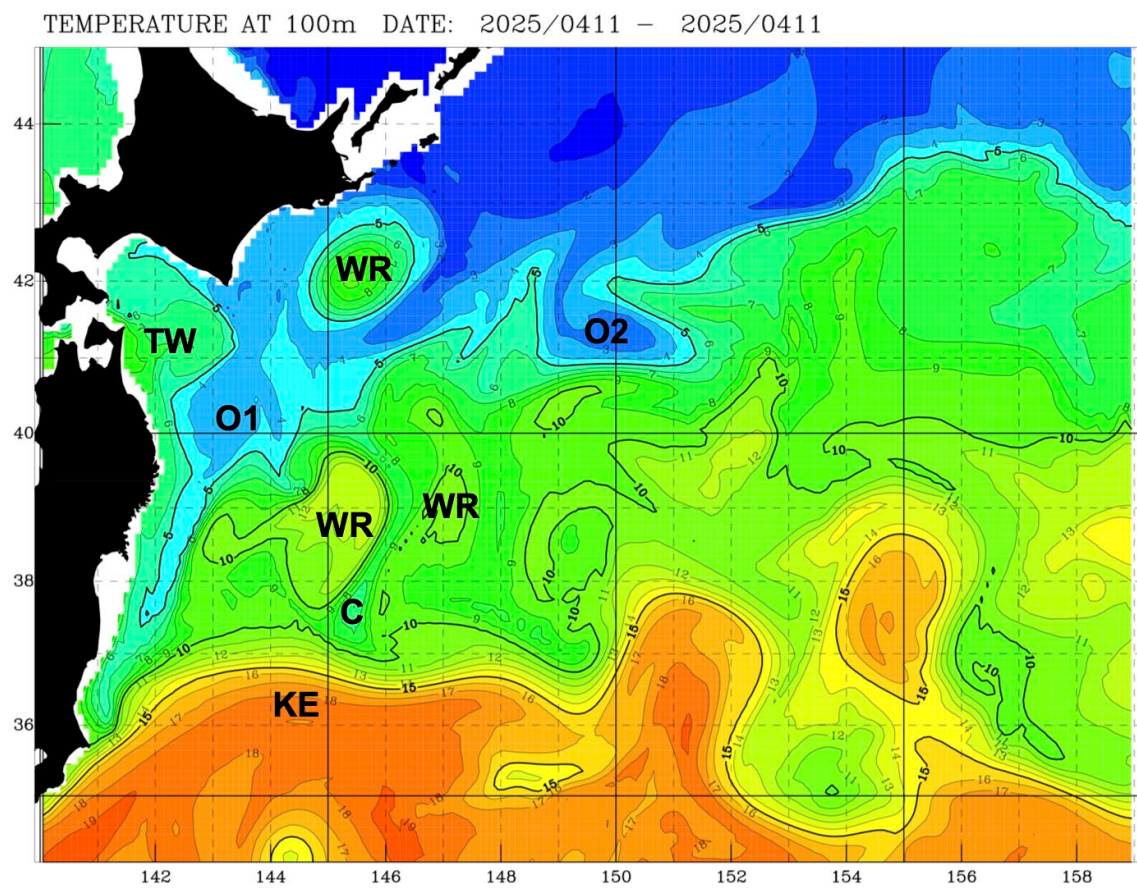
近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏、親潮第1分枝の張り出しはかなり南偏である。暖水塊が釧路沖、三陸近海および三陸沖にある。

（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMSⅡシステムを用いた。FRA-ROMSⅡは、我が国周辺海域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

5月上旬予測水温分布図



4月中旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	(取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所
岩手県水産技術センター	
宮城県水産技術総合センター	
福島県水産海洋研究センター	
茨城県水産試験場	